

令和2年度下半期水道事業 業務状況説明書

1 事業の概況

安全・安心な給水を継続するため、昨年度に引き続き、管網未整備路線や区画整理地区における配水管の布設、老朽化した配水管や浄配水場施設の更新を実施しました。

拡張事業では、637,063,533円を投じ、管網未整備路線の出水不良の改善と、区画整理地区における配水管布設工事を行い、口径75～250mmの配水管を4,315m布設しました。

改良事業では、3,783,259,244円を投じ、老朽铸铁管等の更新工事として、口径75～600mmの配水管等を14,476m布設しました。

また、令和2年度から令和3年度の2カ年継続事業である新郷浄水場急速ろ過設備更新工事、横曽根浄水場自家発電設備等更新工事及び神根浄水場配水ポンプ制御盤更新工事のほか、神根浄水場7号井掘替工事、芝後谷公園ほか水質モニター装置更新工事、上青木浄水場A系配水流量計更新工事、神根浄水場場内配管布設工事等を実施しました。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入における給水収益の決算額は11,085,563,105円で、予算現額11,359,086,000円に対し執行率97.6%、受託工事収益は88,113,024円で、予算現額110,691,000円に対し執行率79.6%、水道利用加入金は519,849,000円で、予算現額650,408,000円に対し執行率79.9%となりました。

これらに、その他営業収益、長期前受金戻入、他会計補助金等を加えた収入総額は13,238,327,248円で、予算現額13,649,137,000円に対し97.0%の執行率となりました。

一方、収益的支出の決算額は11,337,691,525円で、予算現額12,291,018,000円に対し92.2%の執行率となりました。主な内訳は、営業費用10,830,901,265円、企業債の支払利息等434,902,391円、特別損失7,280,238円となっています。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は1,900,635,723円となりました。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の主なものは企業債1,650,000,000円で、このほか、固定資産売却代金、受託工事収入、一般会計負担金を加えた決算額は1,783,746,293円となり、予算現額1,849,061,000円に対し96.5%の執行率となりました。

一方、資本的支出の決算額は6,150,360,678円で、予算現額6,822,722,000円に対し90.1%の執行率となりました。内訳は、建設改良費4,450,147,127円、企業債償還金1,700,213,551円となっています。

3 給水状況

本年度末日の給水人口は607,746人で、前年度に比べ639人（0.1%）減、給水世帯数は295,488世帯で、前年度に比べ3,490世帯（1.2%）増となっています。

年間総配水量は65,583,414^m³で、前年度に比べ1,505,409^m³（2.3%）の増となり、有収水量は59,408,414^m³、有収率は90.58%となっています。

収益的収入及び支出

1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
給水収益	11,359,086,000	11,085,563,105	△ 273,522,895	97.6
受託工事収益	110,691,000	88,113,024	△ 22,577,976	79.6
水道利用加入金	650,408,000	519,849,000	△ 130,559,000	79.9
その他営業収益	432,637,000	424,236,687	△ 8,400,313	98.1
受取利息	1,655,000	631,870	△ 1,023,130	38.2
長期前受金戻入	247,865,000	249,305,150	1,440,150	100.6
雑収益	27,122,000	34,996,454	7,874,454	129.0
他会計補助金	819,672,000	816,708,352	△ 2,963,648	99.6
過年度損益修正益	1,000	2,565,909	2,564,909	256590.9
その他特別利益	0	16,357,697	16,357,697	—
計	13,649,137,000	13,238,327,248	△ 410,809,752	97.0

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
原水及び浄水費	4,653,723,000	4,514,321,224	139,401,776	97.0
配水及び給水費	2,545,814,000	2,095,413,063	450,400,937	82.3
受託工事費	170,869,000	131,698,201	39,170,799	77.1
業務費	1,092,079,000	1,033,569,406	58,509,594	94.6
総係費	409,780,000	270,059,538	139,720,462	65.9
減価償却費	2,778,503,000	2,754,058,564	24,444,436	99.1
資産減耗費	42,282,000	31,781,269	10,500,731	75.2
支払利息	456,862,000	434,902,391	21,959,609	95.2
消費税及び地方消費税	100,395,000	62,141,900	38,253,100	61.9
雑支出	3,126,000	2,465,731	660,269	78.9
過年度損益修正損	7,585,000	7,260,758	324,242	95.7
固定資産売却損	0	19,480	△ 19,480	—
予備費	30,000,000	0	30,000,000	0.0
計	12,291,018,000	11,337,691,525	953,326,475	92.2

(消費税及び地方消費税込みで表示)

資本的収入及び支出一覧

1 収入

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) B - A	執行率 B/A (%)
企業債	1,650,000,000	1,650,000,000	0	100.0
固定資産売却代金	66,000	50,720	△ 15,280	76.8
受託工事収入	116,226,000	50,391,000	△ 65,835,000	43.4
負担金	82,769,000	83,304,573	535,573	100.6
計	1,849,061,000	1,783,746,293	△ 65,314,707	96.5

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) A - B	執行率 B/A (%)
建設改良費	5,122,508,000	4,450,147,127	672,360,873	86.9
企業債償還金	1,700,214,000	1,700,213,551	449	100.0
計	6,822,722,000	6,150,360,678	672,361,322	90.1

(消費税及び地方消費税込みで表示)

給水の状況

区 分	令和2年度	令和元年度 A	差 引 B (2年度 - 元年度)	増 減 率 B/A (%)
給水人口 (人)	607,746	608,385	△ 639	△ 0.1
給水世帯数 (世帯)	295,488	291,998	3,490	1.2
総配水量 (m ³)	65,583,414	64,078,005	1,505,409	2.3
1日平均配水量 (m ³)	179,681	175,077	4,604	2.6

地方債現在高

令和3年3月31日現在

1 地方債

借入先	水道会計
財政融資資金	千円 23,728,138
地方公共団体金融機構	5,311,792
合計	29,039,930

令和3年度水道事業 予算概要

1 事業の概況

本市水道事業は、中長期経営計画である「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」において、「安全・安心と真心を いつでもお客様のもとへ」を事業運営の基本理念として掲げています。

この基本理念を実現するため、平常時だけでなく、災害時にあっても安全・安心な水道水を安定してお届けできるように、各事業を推進していきます。

令和3年度当初予算においては、引き続き、区画整理地区等への配水管の布設や老朽化した配水管の布設替えにより管路の耐震化を図る経費、浄配水場施設の整備に係る経費等を計上しています。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入の合計額は14,608,032千円で、前年度に比べ876,928千円（6.4%）の増を見込んでいます。増額の主な理由は、給水収益の増によるものです。

収益的支出の合計額は12,235,528千円で、前年度に比べ△137,025千円（△1.1%）の減となっています。減額の主な理由は、人件費、委託料、工事費の減によるものです。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の合計額は1,841,231千円で、内訳は、企業債1,700,000千円、固定資産売却代金10千円、受託工事収入80,519千円、一般会計負担金60,702千円となっています。

資本的支出の合計額は7,735,472千円で、内訳は、建設改良費5,999,043千円、企業債償還金1,736,429千円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額5,894,241千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額503,837千円、減債積立金1,510,000千円、過年度分損益勘定留保資金1,518,823千円、当年度分損益勘定留保資金2,361,581千円で補てんします。

3 給水状況

令和3年度の総配水量は64,666,000 m³で、このうち、県営水道からの受水量は57,001,000 m³、深井戸からの取水量は7,665,000 m³を見込んでいます。

有収水量は58,713,000 m³、予定有収率は90.79%を見込んでいます。